

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団

2009. 5. 20号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)

電話 671-3032 FAX 641-7100

E-mail: info@jcp-yokohama.com

http://www.jcp-yokohama.com/

市立南高が中高一貫校に

市立南高校
(同校ホームページより)

2012年4月に開校予定

横浜市教育委員会は、市立南高校(港南区東永谷)を「中高一貫教育校」に再編・設置する方針を固め、2012年4月に開校する計画です。

設置のねらいは、「6年間を通じた異年齢の生徒が学校生活を送り、6年間の計画的・継続的な教育的指導を行う仕組みを整え、より生徒の個性を伸ばす教育を展開する」としています。

学校法の改正により、98年から中高一貫教育を選択的に導入することが可能となり、08年4月時点で公立の中高一貫校は158校となっています。神奈川県でも今年4月から相模原と平塚に県立中等教育学校が開校しました。

今回設置する中高一貫校は、現行の中学校を前期過程、高校を後期課程として、6年間の計画的・継続的な教育を行うもので、高校から入学することはできません。

設置場所は現在の南高校を活用し、現在の高校1学年8クラス合計24クラスを減らして、中学校に当たる前期過程のクラスに当てるとしています。

南高校は事実上の廃校に

日本共産党の関美恵子市会議員(港南区選出)は、「今回の中高一貫校は高校での受験の機会がなくなり、事実上の廃校と同じ。クラス数も減らされ、問題が大きい。また、義務教育で小学生に受験を行うことは、競争をあおることになります」と指摘しています。

同校同窓会・PTA・後援会はこれらに加えて、クラブ活動が後退することや校名がなくなることなどを理由に反発しており、高校からの受験・入学も行う併設型の中高一貫校を主張しています。



エリート校化あおる公立中高一貫校

大学進学実績が高い公立中高一貫校では入試倍率が跳ね上がり、塾に通うなど私立入試並みの対策が必要になっています。千葉県立千葉高校に併設の千葉中学は開校初年の昨年は27倍、京都府立洛北高校の附属中学は6.2倍、神奈川県立の中等教育学校でも相模原が16.3倍、平塚が6.4倍と、非常に高い競争率になっています。これでは、6年間でゆとりをもって個性を伸ばすという当初の目的とはかけ離れ、公立のエリート校化を促進しているようなものです。

法令改正の国会決議の際に、「受験準備に偏したいわゆる『受験エリート校』化など、偏差値による学校間格差を助長することのないように十分に配慮すること」、「入学者の選抜に当たって学力試験は行わないこととし、学校の個性や特色に応じて多様で柔軟な方法を適切に組み合わせて入学選抜方法を検討し、受験競争の低年齢化を招くことのないように十分に配慮すること」という附帯決議が盛り込まれました。しかし、全国での実態はこの決議を全く逸脱しています。

公立中高一貫校の問題点が指摘されているいま、その検証・改善を待たずに、横浜市立の中高一貫校の設置を急ぐのは、問題です。